

# 横芝の碑

(その六十四)

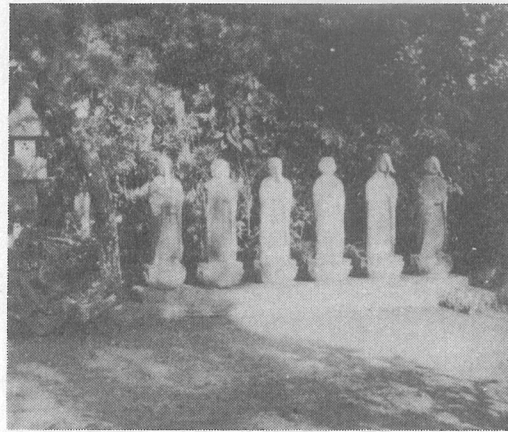
## 庶民の念願—無量寺の六地藏

屋形宮前の無量寺は、正しくは竜宝山正光院無量寺と呼び、壹千年の歴史を持つ由緒ある寺院と伝えられています。

この寺の境内に元禄年間に建立された六体の地藏尊が祀られています。殆んど完全なお姿のままですが、元禄十一年、屋形海保長兵衛一族、と刻まれているのが読みとれます。

寺伝によりますと、無量寺は、桓武天皇の曾孫高望王（平将門の祖）が始めて平朝臣の姓を賜り、上総介に任命され、延喜二年（九〇二）に国家安穩祈願のため建立した来照院が創まりであるといわれ、其後源頼朝の帰依を受け、鎌倉から大日如来を勧請して堂宇を建立安置したこと等もあって、名刹として栄えていきましたが、天正十八年（一五九〇）坂田城主井田友胤と里見氏による栗山川合戦等によって堂宇は悉く焼失してしまいました。

元和二年（一六一六）に到り、壇家の名門海保家（綱元千神の祖）が境内用地として現在の場所を寄進し、光明院、竜性院の両寺と併せて、竜宝山正光院無量寺として



る機会が多く、冷え等から子宝に恵まれず、淋しさをかこつ人々の心や、幼くして両親に先立ち、時には流産等で闇から闇に消え去つた嬰兒の霊を慰めたい、という考えが或種の思想となつて流れてきたものとも思われます。

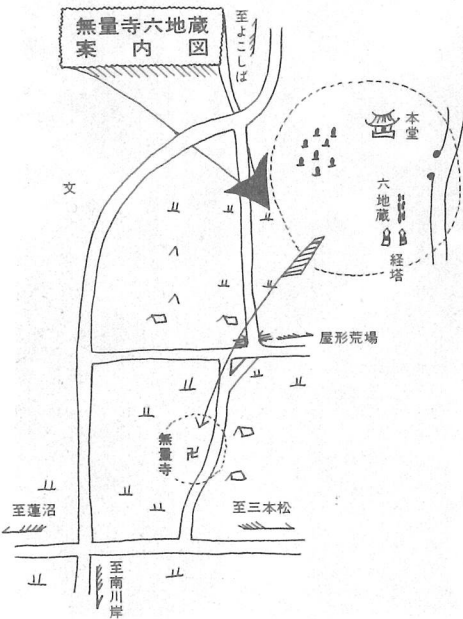
### 無量寺の六地藏

地藏尊は元来女体に在りし、釈迦如来に願請し、その付託を受け、その入滅後釈迦「みろく」仏の出世するまでの無仏の世界に住み、六道、畜生、餓鬼、地獄、修羅、人道、天道の衆生を化導する菩薩で、六地藏とは、檀陀、宝珠、宝印、地持、除蓋、日光の六

種の地藏を総称する。俗説には幼児の死後賽の河原での救護者といわれる。は、そうした、子供に縁うすかつた人々や、現世に縁を持ち得なかつた嬰兒の霊を慰めるため、心やさしい海保長兵衛（附近切つての綱元千神の当主）さんが、その一族と共に寄進建立されたものだといわれています。この六体の地藏尊は、つい最近まで余り人目にふれない場所に祀られていたのですが、長兵衛さんの奇特な心を世の人々に伝えたい、という心と、地藏信仰の心厚さもあって宮治照良師が此処にお移しして祀つたものだという事です。尚宮治照良師は、みず兎地藏祭忌も発願され、木造の御仏体を本堂に安置されて、露座の六地藏と同じ様に手厚く供養を続けておられるという事です。

◎写真はその六地藏で、元禄以来

発足したものとわわれています。屋形の周辺は海に生活を求める人が多かったためか、浄土信仰（人が此の世に在る間は種々の防げがあるが、仏の教えに従つて発願すれば、阿弥陀如来の極楽浄土に成仏往生できる、と信ずる。）が広く行き渡り、そうしたことから現世に一番近い所にいらつしやると信じられている地藏菩薩への信仰と結びついたのではないのでしょうか。また、九十九里浜漁業は、地曳、おっぺし等、女性でも海に入



の柔和なお姿を拝見している中に取材者であることを忘れ、一つ積んでは父のため一二つ積んでは母のため」と、幼い頃母に聞かされた賽の河原の念仏唄を唄っている自分に気が付いて思わず合掌をしたのです。（本稿取材に当り、当山住職宮治照良師の御指導と御協力を頂いたことを申添え、併せて紙面の都合から御指導頂いた内容に説明不足の点があることお断りを申し上げます。）

文化財審議会委員

小沢春光氏寄稿

## 老人大学学生募集

健康で学習意欲のある六十歳以上（大正七年四月一日以前生）の方を対象に、老人大学では次の要領で学生を募集しています。

- 一、募集学園
  - 上総学園
- 二、施設名
  - 茂原市中央公民館
- 三、募集定員および学科
  - 総合福祉科 七〇名
  - 生活科学科 三〇名
- 四、入学金および授業料等
  - 入学金および授業料等は原則として徴取しません。
  - その他入学願書等、詳しいことをお知らせになりたい方は役場福祉保健課まで。